

公園内で見られる植物

写真は8月21日（日）

自然観察会で見られた
植物です



クサギ (クサギ属)

花／7月下旬～9月枝先や上部の葉腋から集散花序をだし、芳香のある花を多数つける。



ヘクソカズラ (ヘクソカズラ属)

花冠は長さ1 $\frac{1}{2}$ の鐘形で先は浅く5裂して平開する。のどと内側は紅紫色。



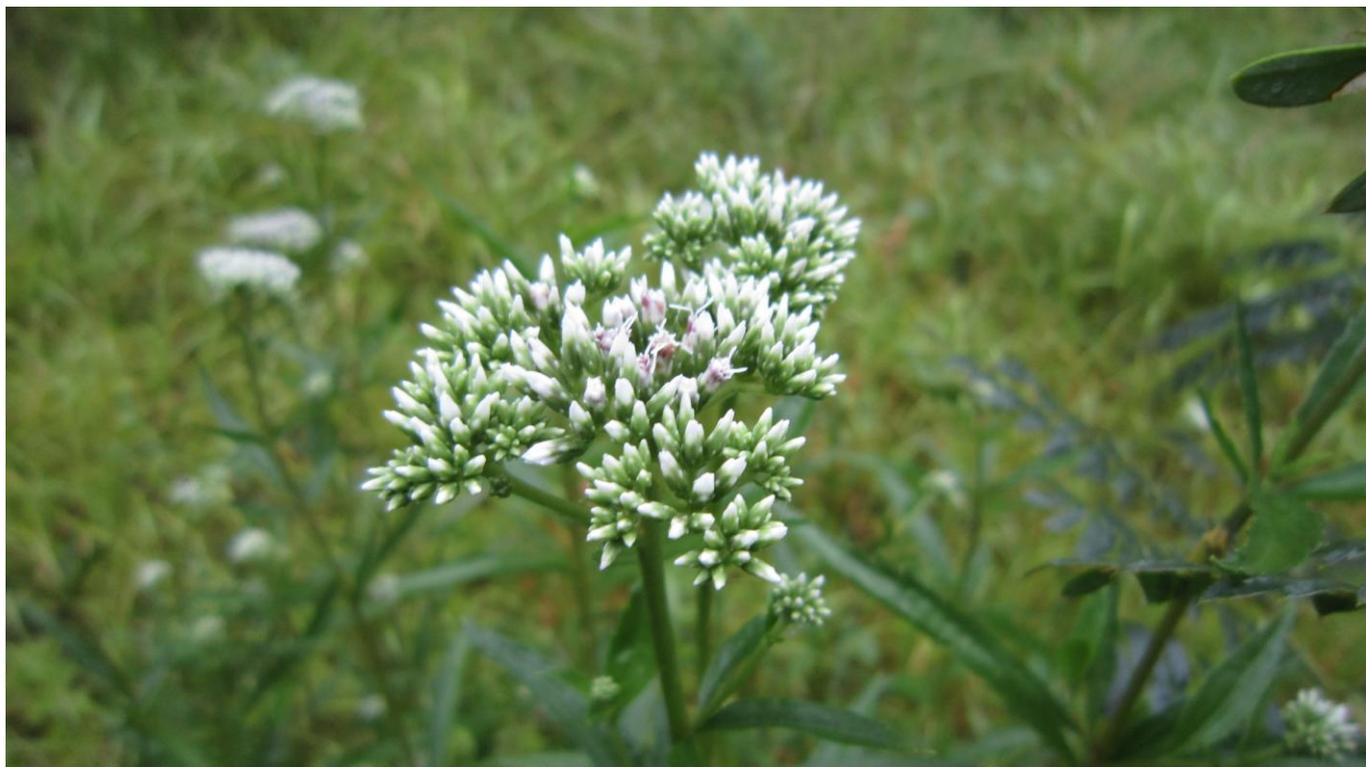
キキョウ (キキョウ属)

葉は互生し、長さ4～7センチの狭卵形で鋭い鋸歯がある。茎の先に青色紫の花が数個つく。花冠は直径4～5センチの鐘形。秋を代表する花として昔から親しまれてきた。



センニンソウ (センニンソウ属)

夏の終わりごろから初秋にかけて、葉腋から円錐花序をだし、白い花を多数つける。花は直径2～3センチで、上向きに咲く。白い花卉のように見えるのは萼片で4個あり、十文字に開く。



ヒヨドリバナ (フジバカマ属)

ヒヨドリの鳴くころ花が咲くことからこの名があるといわれる。高さ1～2mになる多年草。



ヒヨドリジョウゴ (ナス属)

山野に生えるつる性の多年草。全体に軟毛を密生し、葉柄で他物にからみついてのびる。花は白色で直径1cmほど、集散花序に多数つく。



ラクウショウ (ヌマスギ属)

直径2.5～3 $\frac{1}{2}$ の球形で、10～11月に緑白色から褐色に熟す。果鱗に2個種子がつく。熟すと果鱗が開いて種子をだす。



ツリガネニンジン (ツリガネニンジン属)

茎頂に円錐形の花序をだし、1個～数個の花が輪生してやや下向きにつく。鐘形の花冠は淡紫色または白色で、長さ1.5～2 $\frac{1}{2}$ 先は5裂してやや広がる。



ヤマジノホトトギス (ホトトギス属)

山野の林内に生え、高さ30～60センチ。茎に下向きの毛が密生する。葉は長さ8～18センチ。花は茎の先や葉腋につく。花被片には紅紫色の斑点がある。



オミナエシ (オミナエシ属)

秋の七草のひとつ。茎の上部はよく分枝し、黄色の花を散房状に多数つける。